

久光

— 創立者生誕150年記念臨時号 —

学校法人 久光学園 志のぶ幼稚園

歴代園長紹介



(生1868年～1933年没)

創立者(初代園長)
蟻川 久江 Hisae Arikawa

- ◆ 明治元年(1868)2月5日
群馬県にて生まれる
- ◆ 明治16年(1883)
浅草区公立小学校生徒品行善良・
学力優等者として東京府より表彰
- ◆ 明治17年(1884)
浅草小学校高等科を卒業
- ◆ 明治27年(1894)
成美学館設置願・認可
- ◆ 明治31年(1898)7月25日
東京府教育會附属幼稚園保姆傳習所卒業
(現 竹早教員保育士養成所)
- ◆ 明治31年(1898)8月12日
幼稚園保姆免許状取得
- ◆ 明治44年(1911)5月15日
大塚幼稚園創立・園長就任
- ◆ 大正6年(1917)6月2日
東京市小石川區教育會長理學博士男爵
菊池大麓より表彰を受ける
- ◆ 昭和8年(1933)4月29日
逝去(享年66)



浅草小学校学籍簿



東京府からの賞(明治14年)



幼稚園保姆免許状(明治31年)



現 竹早教員保育士養成所卒業証明状(明治31年)



東京市小石川區教育會からの表彰状(大正6年)

2代目園長
蟻川 綾子 Ayako Arikawa



(生1904年～没1988年)

- ◆ 明治37年(1904)12月31日
愛媛県にて生まれる
- ◆ 大正15年(1926)
日本女子大学師範科卒
- ◆ 大正15年～昭和7年(1926～1932)
横浜英和女学校高等家政科教諭
- ◆ 昭和8年(1933)4月1日～
私立大塚幼稚園(現 志のぶ幼稚園)
園長就任
- ◆ 昭和58年(1983)4月29日
勲6等宝冠章受章
- ◆ 昭和63年(1988)12月24日
逝去(享年83)

3代目園長
岡 教子 Noriko Oka



(生1937年～現)

- ◆ 昭和12年(1937)1月6日
東京にて生まれる
- ◆ 昭和32年(1957)4月1日～
志のぶ幼稚園教諭として勤務
- ◆ 平成元年(1989)1月～
志のぶ幼稚園園長就任
- ◆ 平成15年(2003)10月1日
東京都知事教育功労者として表彰
- ◆ 平成16年(2004)
学校法人久光学園志のぶ幼稚園
理事長に就任
- ◆ 平成30年(2018)
全日本私立幼稚園連合会より
61年に亘る永年勤続表彰を受章

志のぶ幼稚園 誕生

志のぶ幼稚園の前身である大塚幼稚園は、明治44年5月15日旧小石川窪町に初代蟻川久江園長によって創立され、翌大正元年8月24日に東京府の認可を受けました。初代園長は、近代日本の夜明けともいえるべき「明治維新」の翌月、明治元年2月5日に生を受け、本年で生誕150年の節目を迎えます。東京大空襲で焼けずに残った、2代目蟻川綾子園長の手記から抜粋しますと、

（初代園長は）「早くに夫を亡くし自立のため女子師範の保姆伝習所第一回生（夜学）となり嬰兒を抱え山々苦勞され、卒業後はたちまち小石川区立の幼稚園長として勤務され何回か転勤後、転勤のため人間関係が希薄になりもっと人間関係を大事にしたいとの思いから、大塚窪町の借家を一間広げ二間広げ、フレーベル精神にはげまされて理想の幼児教育を目指し、明治44年5月15日大塚幼稚園を創立しました。

日本の幼児教育を振り返ってみると、明治9年東京女子師範学校附属幼稚園が最初の幼稚園として出来、官の主導で始まり普及していきましたが、私立の幼稚園は社会において理解されるのは容易ではなかった時代です。大塚幼稚園も経済的に苦勞に耐え、久江先生は終生幼児教育に全生命を打ち込まれ、(66才)皆に惜しまれて立派な生涯を閉じられた。」

このように大塚幼稚園創世記について綴っております。2代目蟻川綾子園長は大正末に日本女子大学師範科を卒業後、横浜英和女学校で教師をした後、蟻川家に嫁ぎました。2代目園長は、嫁ぎ先の姑であった初代園長の素晴らしい人格に接し、初代園長の幼児教育に対する情熱に日頃から心を動かされてきました。そして、昭和8年4月29日に初代園長の生涯が閉じましたが、その葬儀での園児たちの初代園長を慕う弔辞に2代目園長は心を動かされ、大塚幼稚園を継承する事を決意しました。

継承の決意は、このように初代園長が天国に旅立った後のこととなります。

2代目園長は初代園長の苦勞に報い、残された遺業を輝かしいものに育てるべく大塚幼稚園を盛り立てて来ましたが、間もなく悲劇が襲いかかりました。小石川で長男忍を生後3ヶ月半で亡くしたのです。2代目園長は、悲しみの中に恩師に慰められ、励まされ、慈しみの中に心の勇氣を持って再び立ち上がりました。そして、両霊（祖母と忍）の供養と再出発を決心し、目黒区平町に忍の名前に由来し、園名を新たに志のぶ幼稚園と改め希望にみちて歩み始めました。

大塚幼稚園時代（明治44年～昭和8年）



- 1 大塚幼稚園設立届
- 2 大塚幼稚園学籍簿 (明治44年)
- 3 大塚幼稚園母の会会誌 (昭和5年)
- 4 大正初期の大塚幼稚園保育風景
- 5 大正後期の卒業園式
- 6 蟻川久江園長最後の卒業園式 (昭和8年)
- 7 大塚幼稚園園章

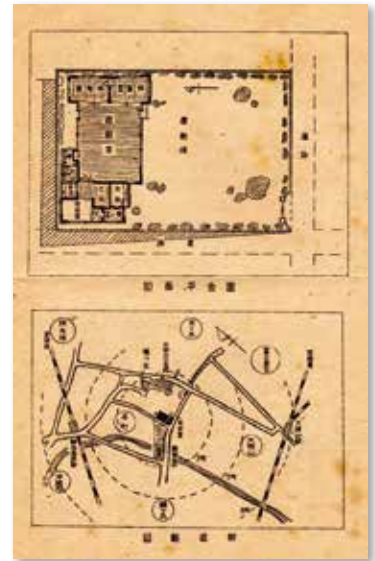
志のぶ幼稚園名称変更当時（昭和11年）



●幼稚園名称変更届



●志のぶ幼稚園最初の園児募集案内



●開園当初の(上)園内図/(下)周辺図



●志のぶ幼稚園新園舎



●志のぶ幼稚園規則



●志のぶ幼稚園開園式

志のぶ幼稚園 歩み

明治44(1911)年	5月15日	旧小石川区大塚窪町一番地に大塚幼稚園として蟻川久江先生により創設され開園式挙行。敷地97坪半、園舎17坪半。借家(家賃8円)。
大正元(1912)年	8月24日	東京府の認可を得る。都内の私立幼稚園では12番目。
昭和8(1933)年	4月29日	蟻川久江初代園長逝去。
	5月	蟻川一園主、蟻川綾子2代目園長として継承。
昭和11(1936)年	3月	大塚幼稚園第25回生卒園後、目黒区平町へ移転。名称を志のぶ幼稚園に変更、認可。
	9月	志のぶ幼稚園誌『久光』第1号発刊。
昭和13(1938)年	2月	志のぶ幼稚園誌『久光』第2号発刊。
昭和19(1944)年	5月31日	太平洋戦争のため東京都の全幼稚園に対して休園命令が下り、志のぶ幼稚園も休園を余儀なくされる。
昭和21(1946)年	9月5日	東京大空襲の戦災から園舎が免れ、再開園する。
昭和23(1948)年	11月7日	志のぶ幼稚園10周年記念式典及び祝賀会を工大講堂にて挙行。
昭和24(1949)年	5月28日	蟻川一園主逝去。
昭和26(1951)年	3月19日	志のぶ幼稚園の後援会発起人会が開催され、後援会が発足。慶應義塾大学教授千種義人先生が初代会長に就任。
昭和33(1958)年	5月29日	アジア大会の開会式マスゲームに出場。
昭和34(1959)年	5月17日	日本体操祭に参加。入場式では幼稚園代表として、入場行進の先頭で入場。この場面がテレビ中継される。
昭和35(1960)年	2月23日	東京テレビの『テレビ幼稚園』に出演。皇太子殿下生誕日と重なり思い出深い日となる。
	7月27日	2代目蟻川綾子園長が全日本幼稚園連合会から永年勤続表彰を受ける。
昭和36(1961)年	11月12日	創立50周年記念式典及び祝賀会をトキワ松学園講堂にて挙行。
昭和38(1963)年	11月	志のぶ幼稚園誌『久光 創立50周年記念号』第3号発刊。
昭和46(1971)年	11月14日	創立60周年記念式典を大岡山小学校講堂にて挙行。園歌「志のぶのこども」発表。詩 小林純一 曲 中田喜直
昭和47(1972)年	10月	志のぶ幼稚園誌『久光 創立60周年記念号』第4号発刊。
昭和56(1981)年	4月29日	2代目蟻川綾子園長が勲六等宝冠章を受賞。
	11月22日	創立70周年記念式典を中根小学校講堂にて挙行。
昭和58(1983)年	7月	志のぶ幼稚園誌『久光 叙勲祝賀 創立70周年記念号』第5号発刊。
	12月24日	2代目蟻川綾子園長逝去。
平成元(1989)年	1月7日	設置者変更認可が下りる。設置者を蟻川至、3代目園長として岡教子が継承。
平成3(1991)年	5月18日	創立80周年記念式典をイノホールにて挙行。
平成8(1996)年		創立85周年の記念に「志のぶおどり」発表。作詞 岡教子、作曲 松本隆、振付 竹屋啓子。
平成13(2001)年	11月17日	創立90周年記念式典を八芳園にて挙行。
	12月17日	愛子内親王殿下の記念植樹式で目黒区の代表を務める。(中根公園)
平成15(2003)年	4月1日	学校法人久光学園志のぶ幼稚園になる。
	10月1日	3代目岡教子園長が、東京都知事教育功労表彰を受章する
平成21(2009)年		未就園児が参加するニコニコサークルを新設。満3歳児保育こうめ組の認可が下り開設。
平成23(2011)年	11月13日	創立100周年記念式典を八芳園にて挙行。創立100周年記念に「希望の樹」の時計を園庭に設置。
平成26(2014)年	10月	岡秀樹が副園長に就任
平成27(2015)年		園歌「志のぶのこども」手話訳完成。手話訳 折笠富美子 はだ一朗。
平成29(2017)年		教職員共同研究「国際豆年にちなんで～豆を使った保育の応用と広がり～」が、平成28年度公益財団法人私学財団賞を受賞する。
平成30(2018)年	3月29日	園地西側角地を園地として購入。
	7月25日	(園長)岡 教子、(職員)長倉 和子・渡部 清美・平林 律子の4名が、全日本幼稚園連合会から永年勤続表彰を受ける。
	11月18日	創立者生誕150周年記念式典挙行。新園庭”SHINOBU SENSE OF WONDERLAND”お披露目。



『久光』第1号(昭和11年)



『久光』第2号(昭和13年)



『久光』第3号(昭和38年)



『久光』第4号(昭和47年)



『久光』第5号(昭和58年)

志のぶの こども

志のぶ幼稚園 園歌

小林純一 作詞
中田喜直 作曲
花井智郎 編曲

あからく、げんきに ♩=96 ぐらい

The image shows a musical score for the song '志のぶの こども'. It includes a vocal line with lyrics, a piano accompaniment, and a guitar part. The lyrics are: 1. あからく、げんきに、いあきもの、2. こども、あつが、いろの、3. みつつ、のいろの。 The piano part features a simple melody with chords. The guitar part is a simple accompaniment. The score is written in standard musical notation with lyrics in Japanese.

志のぶの こども
志のぶ幼稚園園歌
1971. 11. 7
小林純一 作詞
中田喜直 作曲

志のぶの こども
志のぶ幼稚園園歌
1971. 11. 7
小林純一 作詞
中田喜直 作曲

発表 昭和46年(1971年)

作詞

小林純一(日本の児童文学作家、童謡詩人)

- 1979年 日本童謡賞受賞
- 1978年 赤い鳥文学賞受賞
- 1995年 日本童謡賞特別賞
- 「小林純一・芥川也寸志遺作集 こどものうた」

作曲

中田喜直(作曲家)

<代表曲>

- 夏の思い出 ●雪の降るまちを ●めだかの学校
- ちいさい秋みつけた ●手をたたきましよう(編曲)

手話訳
(2015年発表)

折笠富美子(声優)

園歌について

明るくのびる太陽のこども等。私は教子先生(現園長)の歌声と、それに和する園児等の声に涙が流れて仕方なかった。それは丁度ベートーヴェンの名曲第九シンホニーの第四楽章で歌われる、あのシラーの詩「歓喜によす」を高らかに歌うのを聞く、あの感激にも似た心の引きしめる感動の涙であった。明るい歌だ。美しい曲だ。太陽の子。志のぶのこどもは幸いだ。

(久光4より) 王供重明 大塚幼稚園・志のぶ幼稚園旧主事)